

福知山市 令和6年度事務事業評価シート

(単位：千円)

事業属性

事業名	シニアワークカレッジ運営事業								事業コード	100701660114				
政策体系	基本政策	7 市民一人ひとりが、生活と仕事の調和の取れた、多様な働き方が活かされるまち					政策目標	1 働く意欲を支える支援制度の充実						
	施策名	1 スキル取得やキャリア形成の機会の創出						施策コード	711					
事業担当	所属	03030000 市長公室 大学政策課					所属長	山中 貴文						
会計情報	款	10 教育費		項	07 大学費		目	01 大学振興費		会計	01 一般会計	決算附属資料	243	頁
計画期間	開始年度	令和3年度		終了予定年度	令和8年度		関連計画名	-			R6現在の状況		継続中	
根拠法令等	-													
事業区分	☐ 法定受託事務 ☒ 国府補助事業 ☐ 市単独事業 ☐ 内部庶務の事業 ☐ その他 (													

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて 事業が果たす役割)	企業や事業所におけるデジタルトランスフォーメーション(DX)とシニア世代等の更なる活用を促すために、「シニアワークカレッジ」を開設し、市内企業・事業所の従業員にリスキリング教育(学び直し)によるスキルアップに繋げる。				
対象者	シニアワークカレッジ受講者	対象者数	42	単位あたりコスト	163.8
実施方法	☐ 直接実施 ☒ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 (				

III 予算執行状況

区 分		R4(評価前年度)		R5(評価年度)		R6(本年度)		R7(要求年度)						
予算情報	① 当初予算	3,000		2,000		2,000		0						
	② 補正予算	0		0		0		0						
	③ 繰越予算	0		0		0		0						
	前年度繰越	0		0		0								
	次年度繰越	0		0										
小計(①～③)		3,000		2,000		2,000		0						
予算財源内訳	① 一般財源	0		0		0		0						
	② 国支出金	1,500		1,000		1,000		0						
	③ 府支出金	0		0		0		0						
	④ 地方債	0		0		0		0						
	⑤ その他特財	1,500		1,000		1,000		0						
決算情報	① 流充用額	0		0										
	② 配当予算	3,000		2,000										
	③ 執行額	2,780		2,000										
	④ 執行率	92.7%		100.0%										
人概工算	① 従事職員数 正職員/会計年度任用職員 ※R4は、正職員/非常勤嘱託職員	0.25	/	0.00	0.33	/	0.80	/						
	② 概算人件費	2,000		4,880										
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		4,780		6,880										
主な利用特財 (N-1年度実績値)		特財名称	シニアワークカレッジ運営事業(デジタル田園都市国家構想交付金)		種類	教育費国庫補助金		実績金額	1,000		20	頁		
			シニアワークカレッジ運営事業基金繰入(ふるさと創生事業基金)			基金繰入金			1,000				決算附属資料	36

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R3		R4		R5		R6		最終目標
	受講者のキャリア開拓件数	件	0	/	1	0	/	1	/	1	1
			/		/		/		/		
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R3		R4		R5		R6		最終目標
	講座受講者数	人	28	/	30	58	/	30	42	/	64
	単位あたりコスト		55.0		47.9		47.6				
	単位あたりコスト		/		1		/		シニアワークカレッジ運営事業		

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価の観点に寄与したR5年度の取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必 要 性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	福知山公立大学情報学部の見聞を活用した5コース(シン・データサイエンスコース、AI人材育成コース、広報用動画制作コース、組込みハードウェア設計コース、ドローンの自動操縦で学ぶプログラミングコース)を実施した。ビジネスで役立つ最新の情報技術を学び、今後のキャリアに活かすことで、地域産業の活性化につながるものである。	☐ 高い
効 率 性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	・国の財源(デジタル田園都市国家構想交付金)を活用し、一般財源負担を抑えている。	☒ やや高い ☐ やや低い ☐ 低い
有 効 性	・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	・福知山公立大学情報学部の見聞を活用し、ビジネスで役立つ最新の情報技術を学んだ。 ・参加者アンケートでは、全ての回答者から「学んだことを業務に活かせる」との回答を得た。	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	・ビジネスチャットツール(Slack)を活用し、講座開催日当日だけでなく普段から参加者同士や講師との意見交換を実施したこともあり、事後に実施したアンケート調査では、講義内容だけでなく参加者のネットワークづくりなどの面においても参加者の満足度が高かった。 ・コースによって参加者数にばらつきがあったが、シニア世代のみならず幅広い年齢層の参加を得た。 ・受講者が本事業を受講したことによりキャリアに変化があったかなど、一定期間をおいて生じる効果について調査を行うなど、多方面から事業効果の検証を行う必要がある。		
改 善 策	2年連続して参加者が少なかった講座を取りやめるとともに、そのほかの講座については、アンケート調整等によりリカレント教育のニーズに合わせた講座内容を大学と検討する。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	☐ 事業の見直し ☐ 統合／組換 ☐ 廃止／休止 ☐ 事業の見直しなし	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	☐ 現状維持 ☐ 廃止/休止 ☐ 予算拡充 ☐ 予算縮減 ☐ 他事業を統合 (統合事業名:) ☐ 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和6年度事務事業評価シート

(単位：千円)

事業属性

事業名	ひとり親家庭自立支援給付金事業							事業コード	030101430398					
政策体系	基本政策	7 市民一人ひとりが、生活と仕事の調和の取れた、多様な働き方が活かされるまち				政策目標	1 働く意欲を支える支援制度の充実							
	施策名	1 スキル取得やキャリア形成の機会の創出					施策コード	711						
事業担当	所属	15010000 福祉保健部 子ども政策室				所属長	荒賀 正之							
会計情報	款	03 民生費		項	01 社会福祉費		目	01 社会福祉総務費		会計	01 一般会計	決算附属資料	105	頁
計画期間	開始年度	平成19年度		終了予定年度	令和8年度		関連計画名	-			R6現在の状況		継続中	
根拠法令等	福知山市高等技能訓練促進給付金事業実施要綱他													
事業区分	☐ 法定受託事務 ☒ 国府補助事業 ☐ 市単独事業 ☐ 内部庶務の事業 ☐ その他 (													

事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて 事業が果たす役割)	ひとり親家庭の親が就業に結びつきやすい技能やスキルの取得、キャリア形成ができるよう給付金を支給する。					
対象者	ひとり親家庭自立支援事業利用者		対象者数	13	単位あたりコスト	1,065.0
実施方法	☒ 直接実施 ☐ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 (					

予算執行状況

区 分		R4(評価前年度)		R5(評価年度)		R6(本年度)		R7(要求年度)			
予算情報	① 当初予算	7,242		12,522		16,375		0			
	② 補正予算	0		0		0		0			
	③ 繰越予算	0		0		0		0			
	前年度繰越	0		0		0					
	次年度繰越	0		0							
小計(①～③)		7,242		12,522		16,375		0			
予算財源内訳	① 一般財源	1,811		3,131		4,094		0			
	② 国支出金	5,431		9,391		12,281		0			
	③ 府支出金	0		0		0		0			
	④ 地方債	0		0		0		0			
	⑤ その他特財	0		0		0		0			
決算情報	① 流充用額	3,507		143							
	② 配当予算	10,749		12,665							
	③ 執行額	10,749		12,665							
	④ 執行率	100.0%		100.0%							
人概工算	① 従事職員数 正職員/会計年度任用職員 ※R4は、正職員/非常勤嘱託職員	0.06	/	0.25	0.06	/	0.25	/			
	② 概算人件費	1,180		1,180							
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		11,929		13,845							
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	母子家庭等対策総合支援事業			種類	民生費国庫補助金		9,925		16	頁
						実績金額			決算附属資料		

業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R3		R4		R5		R6		最終目標
	制度利用者の就職率	%	100	/	100	100	/	100	/	100	100
			/		/		/		/		
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R3		R4		R5		R6		最終目標
	制度利用者数	人	7	/	8	9	/	10	14	/	14
	単位あたりコスト		1143.9		1194.3		904.6				
	単位あたりコスト		/		3		/		ひとり親家庭自立支援給付金事業		

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価の観点に寄与したR5年度の取組事項	施策・施策成果指標 に対する貢献度
必 要 性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	・国の実施要綱に基づき実施 ・就業に有利となる資格取得を促進する制度として、大変有効であり、ニーズは高い。 ・ひとり親家庭の親の就業に結びつきやすい資格の取得を促進し、経済的自立を図るためには必要。 ・給付人数 11人	☐ 高い ☒ やや高い ☐ やや低い ☐ 低い
効 率 性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	・所得制限や世帯の課税状況から支給額が設定されている。	
有 効 性	・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	・ひとり親家庭の親の技能習得や就労支援として、有効な事業である。 ・成果目標については、達成されている。	
定性的な面も含めた自己評価 及び現状の課題	・11人の方が制度を利用し看護師資格又は准看護師等の取得をめざされている。 ・取得後は資格を生かして就職され、経済的自立や看護師不足の解消に寄与している。		
改 善 策	・必要な方への周知を継続していく。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	☐ 事業の見直し ☐ 統合／組換 ☐ 廃止／休止 ☐ 事業の見直しなし	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	☐ 現状維持 ☐ 廃止/休止 ☐ 予算拡充 ☐ 予算縮減 ☐ 他事業を統合 (統合事業名:) ☐ 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和6年度事務事業評価シート

(単位：千円)

事業属性

事業名	ふるさと就職おうえん事業								事業コード	070102320201				
政策体系	基本政策	7 市民一人ひとりが、生活と仕事の調和の取れた、多様な働き方が活かされるまち					政策目標	1 働く意欲を支える支援制度の充実						
	施策名	1 スキル取得やキャリア形成の機会の創出						施策コード	711					
事業担当	所属	25050000 産業政策部 産業観光課					所属長	大江 秀也						
会計情報	款	07 商工費		項	01 商工費		目	02 商工業振興費		会計	01 一般会計	決算附属資料	176・177	頁
計画期間	開始年度	平成17年度		終了予定年度	令和8年度		関連計画名	—			R6現在の状況		継続中	
根拠法令等	—													
事業区分	☐ 法定受託事務 ☒ 国府補助事業 ☐ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☐ その他 (													

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて 事業が果たす役割)	高校生をはじめとする若者の地元企業への理解と関心を高め、地元への定着と地元企業の人材確保につなげるとともに、福知山地域の事業所と求職者との出会いの場を創出することで雇用の安定を図り、持続可能な地域雇用を実現をめざす。				
対象者	市内事業所・就職希望者	対象者数	—	単位あたりコスト	
実施方法	☐ 直接実施 ☐ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☒ その他 (				

III 予算執行状況

区 分		R4(評価前年度)		R5(評価年度)		R6(本年度)		R7(要求年度)									
予 算 情 報	① 当初予算	3,355		3,324		3,666		0									
	② 補正予算	0		0		0		0									
	③ 繰越予算	0		0		0		0									
	前年度繰越	0		0		0											
	次年度繰越	0		0													
小計(①～③)		3,355		3,324		3,666		0									
予 算 財 源 内 訳	① 一般財源	0		0		0		0									
	② 国支出金	445		679		1,688		0									
	③ 府支出金	0		0		0		0									
	④ 地方債	0		0		0		0									
	⑤ その他特財	2,910		2,645		1,978		0									
決 算 情 報	① 流充用額	30		0													
	② 配当予算	3,385		3,324													
	③ 執行額	3,385		3,271													
	④ 執行率	100.0%		98.4%													
人 概 工 算	① 従事職員数 正職員/会計年度任用職員 ※R4は、正職員/非常勤嘱託職員	0.58	/	0.00	0.65	/	0.20	/									
	② 概算人件費	4,640		5,760													
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		8,025		9,031													
主な利用特財 (N-1年度実績値)		特財名称	ふるさと就職おうえん事業(デジタル田園都市国家構想交付金)		種類	商工費国庫補助金		実績金額	652		17	17	頁				
			ふるさと就職おうえん事業基金繰入(ふるさと就職応援基金)			基金繰入金			2,615					決算附属資料		38	

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指 標	単位	R3		R4		R5		R6		最終目標
	就職内定者数	人	18	/	40	30	/	40	51	/	40
			/		/		/		/		
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指 標	単位	R3		R4		R5		R6		最終目標
	就職面接会参加企業数	社	322	/	160	386	/	160	470	/	350
	単位あたりコスト		11.1		8.8		7.0				
	就職面接会参加者数	人	422	/	200	543	/	200	791	/	500
	単位あたりコスト		8.4		6.2		4.1				

ふるさと就職おうえん事業

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価の観点に寄与したR5年度の実績事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必 要 性	- 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か - 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か - 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	持続可能な地域の実現には、雇用の定着、促進、安定化が必要不可欠である。若者の都市部への流出や昨今の事業所の慢性的な人材不足など、市内の雇用情勢は日々変動しており、これらに即応する多角的な支援が必要である。 求職者のスキル向上をめざしたセミナーや事業所と求職者のマッチング機会となる大規模イベントの開催、各種制度紹介などによる定着支援を行うなど、国や府、商工会議所、商工会、長田野工業センター、シルバー人材センター等の関係機関が一体となって取り組んでいる本事業は必要性・優先度の高い事業である。	☒ 高い
効 率 性	- 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か - 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか - コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	関係機関で「福知山雇用連絡会議」を組織し、主に福知山市・ハローワーク福知山・京都ジョブパーク・福知山商工会議所の4つの機関が業務を分担し、効率的な業務の推進を図っている。 また、府北部の総合就業拠点である「京都ジョブパーク」が福知山市内にあることから、共催により、市民の就業支援にあたっている。	☐ やや高い ☐ やや低い ☐ 低い
有 効 性	- 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか - 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか - 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	各種事業が効果的な取組となるよう、福知山管内の毎月の有効求人倍率や全国的な雇用情勢、事業所の動向などを「福知山雇用連絡会議」を構成する各機関で共有している。 また、イベント開催時には、参加事業所に面談者における内定者人数の報告を求めている。各事業がどれほどの就職内定につながったかを正確に把握するよう努めている。同時に、参加者・事業所の両者にアンケートを行うことで両者のニーズを把握し、事業実施に反映させている。	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	- 本市の有効求人倍率は京都府下でも高いポイントで推移しており、市内事業所にとっては人材不足が課題となっている。 - 近年のイベント開催時には、高校生を対象とした「JOB-EXPO」や福知山公立大学生を対象とした「業界・企業研究会」は、参加者数が参加事業所数を大きく上回っているが、それ以外のイベント時は下回ることが多く、参加者数を増加させるための広報手段、事業内容の強化が求められる。		
改 善 策	- 令和5年度から住民に対してダイレクトメールによるイベント周知を図るなど集客に努めている。 - 対面とオンラインのハイブリッド式の合同企業説明会を学生、一般求職者、仕事と家庭の両立を望まれる求職者などそれぞれのニーズに合わせた形で開催し、求職者と事業所のマッチングを図っている。 - 大学生や高校生向けの業界・企業研究会を開催することで地元企業を広く知っていただく機会を設けている。 - 市内求職者に加え、市外からのUIターン希望者にも魅力的な情報を届けられるよう、京都ジョブパークや近隣市、移住定住関連事業との連携を更に深めている。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	☐ 事業の見直し ☐ 統合／組換 ☐ 廃止／休止 ☐ 事業の見直しなし	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	☐ 現状維持 ☐ 廃止/休止 ☐ 予算拡充 ☐ 予算縮減 ☐ 他事業を統合 (統合事業名:) ☐ 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--